

2019 CSR報告書



目次

CSR報告書	03
トップメッセージ	04
ブランド理念	06
第一章	08
地球環境保全	
1.1 環境方針	
1.2 環境管理委員会	
1.3 環境保全商品	
第二章	13
地域社会貢献	
2.1 コミュニケーション	
2.2 ボランティア活動	
2.3 社会貢献商品	
第三章	20
労働安全衛生	
3.1 安全衛生委員会	
3.2 5S推進委員会	
3.3 働きやすい環境づくり	
第四章	27
顧客満足度向上	
4.1 品質管理委員会	
4.2 新たな取り組み	
第五章	32
コンプライアンス	
5.1 品個人情報保護方針	
5.2 個人情報保護管理委員会	
会社情報	36
1. 会社概要	
2. 許可証	
3. 沿革	
4. 拠点一覧	

CSR報告書

齋藤英次商店は、
知性とセンスで環境問題を解決へと導く
「スマートなりサイクルカンパニー」です。

6人の顧客



編集方針

株式会社齋藤英次商店では、お客様や地域の皆様に齋藤英次商店のことをよく知って頂きたいとの思いから、今年度もCSR報告書を発行する運びとなりました。本報告書はISO26000「社会的責任に関する手引き」を参考に編集しています。

対象期間 : 2019年度 (2018.11~2019.10)
参 考 : ISO26000「社会的責任に関する手引き」
発 行 : 2020年4月

循環経済システムの実現

廃プラスチックの現状と今後

世界では、年間数百万トンを超える陸上から海上へのプラスチックごみの流出があると推計されており、このままでは2050年までに魚の総量を上回るプラスチックが海洋へ流出することになります。

日本は世界第3位の廃プラスチック輸出大国であり、2017年は143万トンの廃プラスチックを輸出しました。日本の主な輸出国は中国で年間輸出量の約半分を占めていますが2017年末から、中国は生活由来の廃プラスチックの輸入を禁止。そのため日本の廃プラスチックは東南アジアや台湾へ輸出されるようになりました。しかしながら、ごみが溢れることを危惧した東南アジア・南アジア諸国は次々に輸入禁止を導入し始め、日本の廃プラスチックは海外への輸出ではなく国内処理を増やす動きが出てきています。

現在、廃プラスチック処分の有効な手段は発生抑制（リデュース）を推進することです。国内処理としては、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルを行うこと。国外処理としては回収された廃プラスチックをペレットに加工して輸出することが挙げられます。

発生抑制を推進するための規制を強化するのではなく消費者事業者の意識による廃プラスチック対策を行わなければなりません。日本では法整備や規制強化で環境対策、廃棄物対策を行う時代は過去となり、未来は、消費者、事業者への意識付けで環境対策を行っていくビジョンをもっています。

従来の大量生産・大量消費の一方通行経済システムは環境破壊だけでなく、資源調達コストや処分コストも高い。それに比べて、循環経済システムは、環境影響を最小限に抑え、再生資源利用によるコスト抑制ができる分経済的なメリットが大きい。しかしこのメリットを消費者、事業者が意識していないと途端に循環経済システムは機能しくなくなります。



代表取締役社長/
斎藤大介

私たちの役割

数年前から経済システムが変化し始めました。シェアリングサブスクリプションなどの新しいビジネスモデルなどで、消費者が廃棄するのではなく、事業者が廃棄前に回収するシステムなども始まっています。

また、環境や社会に配慮した製品やサービスを選んで消費するエシカル消費が増えていることも、事業者だけでなく消費者の意識が高まっている証拠です。

次々に新しいビジネスモデルが出てきます。消費者、事業者の意識は変化していきます。循環経済システムは放っておくと変化に適応できなくなり機能低下します。最優先に取り組むことは消費者、事業者の意識付けです。

斎藤英次商店のミッション

「物の価値と心の価値をつなぎ、
できてよかったの幸せで世界を豊かにします」

心の価値とは、消費者、事業者の意識と同じではないでしょうか。斎藤英次商店は、心の価値で回る循環経済システムの実現を目指していきます。

斎藤大介

ブランド理念

ブランドスローガン

「何かしなきゃ」を、「できてよかった」に。

企業理念

物の価値と心の価値をつなぎ、
「できてよかった」の幸せで世界を豊かにします。

ブランドステートメント

ゴミと呼ばれるもの。
使えなくなったものもある。まだ使えるものだって、あるかもしれない。
どちらにしても、捨てるときにはそれをゴミだと思って、捨てている。
心と考える。

「持続可能な社会を作る」という言葉――
きっと誰だって、それが理想だとわかっている。
でもこれが、結構むずかしい。
まず、何からはじめたら良いのか、わからない。
何かをやってみても、なかなか結果が見えてこない。
そしてまた今日も、「何かしなきゃ」を抱えたまま、
ゴミを捨てている。
わたしたち斎藤英次商店の社員一人ひとりが考えるときだ。
ゴミって何だろう？捨てるって何だろう？
すこしずつ、「ゴミを捨てる」の意味を考えていこう。
すこしずつ、「ゴミを捨てる」に新しい価値を与えていこう。
大切なのは、ものの見方を変えるアイデア、そして行動力だ。
わからないことを、わかりやすく。
見えにくいものを、見えるように。
「何かしなきゃ」が、抱えられたままにならないように。



“We do not inherit the earth from our ancestors, we borrow it from our children.”

– Native American Proverb

A stylized illustration of a tree with dark green branches and a light green background, positioned on the left side of the page.

第一章

地球環境保全

- 1.1 環境方針
- 1.2 環境管理委員会
- 1.3 環境保全商品

第一章 地球環境保全



1.1 環境方針

齋藤英次商店は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。そのため、2018年12月に環境方針を更新しました。

環境方針

経済で持続可能な環境保護の取組み。
心で持続可能な環境保護の取組み。

経済と心の両方をつなぎ合わせることが齋藤英次商店の使命です。
「物の価値と心の価値で、できてよかった、
の幸せで世界を豊かにします」を実現します。

私たちは事業活動を通じて環境貢献します。
私たちは、事業活動における環境負荷を軽減します。
私たちは地球環境のために投資します。
私たちは地域の環境美化活動に参加します。
上記方針を実践するため、目的・目標を設定し、
その達成をするためのアクションプランを作り行動します。
目標達成のための見直し、マネジメントレビューによる見直しを、
目標やアクションプランに組み込み、
環境マネジメントシステムの継続的改善を行います。
私たちは、環境法規則、法的要求事項、を遵守します。
環境方針は、全構成員に周知し、環境保全の教育、啓蒙活動を行います。

2018年12月1日
株式会社齋藤英次商店
齋藤 大介



1.2 環境管理委員会

ISO14001運用

2019年1月に一般財団法人日本規格協会（JSA）より認証を受けました。これら環境マネジメントシステムが規定通りに運用されているかどうかの審査とそれに基づく運用の改善は年に1度「環境監査」にて行われます。

主な実施内容

環境管理委員会では、社内のCO2排出量の計測、削減への取組を行っており代表的なものとして以下の3つがあげられます。

1) WEB会議

拠点間の移動経費、業務の効率化、移動に関わるCO2排出量の削減を目的にWeb会議を使用しております。2018年より、Cisco WebEx会議システムを全社に導入し、本社と拠点との間で行われる会議に活用しております。

2) エコドライブ

エコドライブ手順書を作成し、フォークリフトなどの重機や営業車、収集車両を運転する際にエコドライブを実践。日常業務内でのCO2削減に努めております。

3) CO2CO2スマート宣言（千葉県）

千葉県内にある事業所を『CO2CO2スマート宣言事業所』に登録しております。地球温暖化対策を行うことを社内外に宣言し、日々環境保全対策に取り組んでいます。

かしわエコカンパニー大賞 受賞

この度、柏市環境保全協議会に設置されております かしわエコカンパニー大賞『CO2削減部門賞』を受賞しました。2016年より年に一度、柏市環境保全協議会に報告してありました「環境保全報告書」に記載された数値を基に選考されたものです。

このような素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく思っております。今後とも環境問題解決に向けて活動してまいります。

1.3 環境保全商品

LED照明

経済産業省「新成長戦略」、日本照明工業会「照明成長戦2020」などで従来の照明に比べて格段に環境負荷の低いLED照明への転換が大々的に謳われている中、水銀汚染防止法により2021年以降の水銀ランプの製造、輸出入禁止となるほかメーカーによる蛍光灯照明器具の生産終了も相次ぎ、時代は今大きくLED照明へと舵を切ろうとしています。

この変化に対応すべく、斎藤英次商店では2017年よりアイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市）とパートナーシップを組み「LED照明販売事業」を行っております。

また2018年から自動販売機の電力削減、エネルギー問題への取り組みから株式会社サンコーライテック（本社：東京都港区）とパートナーシップを組み自動販売機設置企業限定で「LED照明0円販売事業」を行っております。

これらLED照明販売事業を通じ『物の価値と心の価値をつなぎ「できてよかった」の幸せで、世界を豊かにします。』という当社の企業理念の実現を進めてまいります。

リサイクルステーション 古紙ゆたか

斎藤英次商店では、24時間365日古紙を投入できる古紙回収ボックスの設置を各地に展開しております。誰もがより簡単にリサイクルの輪に参加できるようにしたい、という思いから誕生した取り組みです。2017年に松戸営業所と取手営業所の2カ所で開催し現在では千葉県、茨城県、長野県に計7カ所設置が完了しました。

今後もより広く皆様にご活用いただけるように、活動を推進してまいります。





“We all want to help one another.
Human beings are like that.
We want to live by each other’s happiness,
not by each other’s misery.”

– Charlie Chaplin



第二章

地域社会貢献



- 2.1 コミュニケーション
- 2.2 ボランティア活動
- 2.3 社会貢献商品

第二章 地域社会貢献

2.1 コミュニケーション



社会奉仕団体『ライオンズクラブ国際協会』

斎藤英次商店では、月に2回『柏ライオンズクラブ』に参加しております。そこでライオンズクラブの会員である三井ガーデンホテル柏の葉様より「トイレットペーパーの残りが少なくなると交換してしまうため、余った部分をどうにかリサイクルしたい」というご要望を頂きました。

当社で方法を模索し、縁あってトイレットペーパーは岩井山龍光院にて使用いただけることになりました。こちらのお寺で使用済みとなったトイレットペーパーの芯は最終的に寺子屋の子供たちの好意により『雛人形』や『生け花』として生まれ変わり、ホテルのロビーに飾られることになりました。さまざまな方のご協力のもと、世の中から無価値なものを無くしていくという使命を果たせたことをとても嬉しく思います。

NPO法人『かしわ環境ステーション』

本団体が主催する代表的なイベント「手賀沼花火大会」の開催支援を行っております。柏市の市民の方々が日々の生活で排出される紙類を当社ならびに当社の募った企業が買取り、それら資金を基に太陽光発電協賛企業へ協力を依頼し、電力会社に売電、販売した電力から得られた収入で「手賀沼花火大会」を開催いたします。





リサイクル教室

2019年11月6日（水）に古紙再生促進センター主催の富里小学校リサイクル教室に当社社員が2人、アシスタントとして参加させていただきました。

古紙の分別や紙の種類を子供たち目線で一緒に学び、実際に溶かした紙からハガキを作るなど、リサイクル教室を通じて、多くのお子さんにリサイクルの体験をお届けすることができました。現在も古紙再生促進センターのホームページ内にて参加される学校を募集しておりますので、ご興味のある方はぜひ、お申し込みください！

柏商工会議所「HAKA for KASHIWA」

この夏 2019年9月20日（金）から 11月2日（土）にかけて第9回ラグビーワールドカップ2019が開催されました。

当社のラグビー経験者も活気づいている中で7月16日（火）柏商工会議所にてニュージーランド代表「オールブラックス」の方々との交流活動の場が設けられました。斎藤英次商店からは3人が参加し交流会ではタイトルにもあります『ハカ』という踊りについてオークランドラグビー協会のコーチであるカール・ポキノ氏にご指導いただきました。今回は柏市オリジナルの『ハカ』を制作されたようで「柏の地で力を合わせ、生きていこう」といった素敵な歌詞なども織り込まれております。

第9回ワールドカップの開催により日本国内でラグビーに対する注目が集まっております。これを機にラグビーを始める子供たちも増えるかもしれませんね。斎藤英次商店は今後も、このような交流活動を通じて地域とつながる企業でありたいです。



2.2 ボランティア活動

清掃活動

当社では年に2回、5S活動の一環で本社周辺のごみ拾い活動を行っております。

また、本社ビル周辺以外にも毎年参加している恒例行事である柏市の「ゴミゼロ運動」にも参加してまいりました。2019年5月26日（日）当日の気温は28度と過去最高でした。

開会式には企業での参加者以外にも学生や個人の方も沢山おり、柏市全域でなんと約2万3千人も参加者がいたようです。柏市がとても愛されていることを実感するとともに年々環境への配慮、意識を配る方が増えていることを肌で感じました。

ごみの数は全体で約10トンも集まり、10トン分も自分たちの働く街がきれいになったことにとっても清々しい気持ちになりました。これからも継続的な活動で柏市をキレイにしていけるよう、地域に貢献できる企業として頑張ってまいります。

植樹祭

2019年5月11日（土）で第9回となるカスミ様主催の「植樹祭」に今年も参加させていただきました。カスミ様の新入社員の他にガールスカウト・ボーイスカウトの皆さま、市役所の職員の方々、一般の方々など全体で584名が参加しました。前年同様、快晴の中ケガもなく、皆様緑を楽しみながらの植樹となりました。

総面積1.0ha にエゴノキ、ウメモドキなど、さまざまな植物を約2,500本も植えることができました。毎年こちらの植樹祭は茨城県笠間市愛宕山で行われ、3月頃より参加者を募集されております。安全の確保や植樹方法など専門の方がとても丁寧に指導されますので気になる方は是非、ご参加ください。





2.3 社会貢献商品

防鳥ネット

鳥による営巣やフン被害による衛生面への不安や健康被害が広がる現状を受け、当社では50年以上の歴史と実績を持つ日本マタイ株式会社（本社：東京都台東区）と連携し、薬剤散布や電気ショックを行わない環境配慮型のソリューションとして防鳥ネット販売を行っております。

「設置場所に応じた材質」「建物の美観を守る」を両立できる製品ラインアップや設計・施工・アフターフォローをワンストップで提供する体制でお客様が抱えるお悩みを解決いたします。

福祉ロール

障害者の自立と社会経済活動への参加、地域社会の働く場として就労の機会の創造、および生産活動の一助となるようにとの思いから、当社では2017年8月より、障害福祉サービス事業所『かたぐるま』（場所：千葉県流山市）の利用者が加工・販売する100%再生紙のトイレットペーパーを取り扱っております。

長年使命として掲げている「心の価値交換」の実現の一環で古紙のリサイクルを物の価値交換にとどめるのではなく、リサイクルにご協力いただける多くの方々の善意を社会貢献に充てるということが趣旨となります。このトイレットペーパー1個の購入につき約10円が「かたぐるま」で働く方々の工賃として支払われます。

60期（2018年11月～2019年10月）に於いては、計5,550個の福祉支援トイレットペーパーを販売いたしました。

内職市場

斎藤英次商店では、株式会社内職市場（本社：愛知県春日井市）とフランチャイズ契約を締結し、2018年より内職市場事業を開始いたしました。

「働きたいが、育児や介護のために家を空けることができない」「自宅で過ごす空いた時間を有効活用したい」という地域の皆様の働き方のニーズと、多種多様な業界より寄せられる「人手不足」「固定費削減」などのお悩み解決のご要望の双方に応えることを目指しております。

この内職市場事業では、以前より古紙事業でお世話になっているお客様にも、これまでご縁のなかったお客様にも、内職仕事の受発注を通じて「多様な働き方ニーズに対する就労支援」という新たな形で、当社がミッションとして掲げ目指している「心の価値」の実現への取り組みにご参加いただくことが出来ます。

千葉県内初出店となるFC1号店として「内職市場 緑の森店」を2018年11月に、続く2号店として「内職市場 柏の葉キャンパス店」を2019年5月にそれぞれオープンしました。

主に「土気緑の森店」では千葉市エリアを、「柏の葉キャンパス店」では柏市エリアを中心に、封入作業、組立作業、貼付作業データ入力といった軽作業を請け負ってまいります。ご興味のある方は、是非一度お問合せください。





“The wages of labour are the encouragement of industry, which, like every other human quality, improves in proportion to the encouragement it receives.”

– Adam Smith

第三章

労働安全衛生

- 3.1 安全衛生委員会
- 3.2 5S活動推進委員会
- 3.3 働きやすい環境づくり

第三章

労働安全衛生



3.1 安全衛生委員会

主な活動内容

安全衛生委員会では、従業員の安全や衛生を守るために安全衛生に関する諸計画の立案や調査、審議ならびに実施遂行など、さまざまな活動がおこなわれております。代表的な活動として以下の3つがあげられます。

1) 定期的な情報提供

毎月に行われる委員会会議内だけでなく、全社が閲覧できる掲示板にて流行している病気、症状などを発信。従業員一人一人の健康を守るために、こと細かに対策方法や発信地などの情報を提供しております。

2) 安全運転教育

斎藤英次商店の代表的な事業は古紙リサイクルになります。その要となるのが古紙の回収です。2019年10月時点では計65台の車輛が古紙回収に赴いています。

毎日のように運転をしているドライバーですが、やはり思わぬ不注意により事故を起こすこともあります。そういった運転トラブルを1つでも無くするために定期的に安全運転教育実習を行っております。

自分の命だけでなく他者の命も脅かす運転トラブル、当社ではその重要性をきちんと認識し、日々の業務に努めております。

3) 室内温度・湿度管理

衛生上の問題で最も大事なことは感染予防ですが、もう1点斎藤英次商店では職場環境保全のために温度や湿度管理も行っております。安全衛生委員が率先して加湿器や除湿器などを購入し、従業員が快適に過ごせる環境を保っています。



普通救命講習への参加

2019年度も、社会福祉法人が主催する普通救命講習に参加し応急手当の基礎知識や心肺蘇生・AEDによる救命措置・止血法など、命にかかわる事態の対応についての講習を受けました。

緊急時に慌てることなく対応できるよう、参加者を増やしていきたいです。

安全パトロール

毎年、取締役による安全パトロールを実施しております。

安全な作業がなされているか、安全意識を持って作業しているか、危険な場所はないかなど複数の項目で厳しくチェックを行い、職場環境、職場衛生の保全に努めております。



3.2 5S活動推進委員会

主な活動内容

5S活動推進委員会では、主に5Sに関する諸計画の立案などを行っております。5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字をとったものであり、これら5つの項目が常に正しく為されているかを管理するのが5S活動推進委員の業務になります。代表的な活動として以下の2つがあげられます。

1) 清掃活動

斎藤英次商店では営業所、本社ともに日々の5S活動を行っております。また、日々の5S活動による清掃に加え、毎月5Sの日を定め、1時間掛けて普段の清掃では行ききれない大がかりな整頓・整理・清掃活動を行っております。

本社の場合は、会議室や応接室、キャビネットなど各担当に割り振られ、各自責任をもって5S活動をしております。その中で5S活動推進委員が見回りを行い、清掃が行きとどいていない箇所の指摘や、人手の足りていない清掃場所のヘルプなどを行っております。コツコツと日々の5S活動を積み重ねることで常に職場をキレイに保ち、仕事のしやすい環境を維持しております。

2) 5Sパトロール・コンクール

毎年行われる5Sパトロール・コンクールは、取締役が全拠点の5S活動を審査しております。パトロールはその名の通り、巡回し日々の清掃活動が行われているか、会社で使用する備品が安全に整理整頓された状態で保管されているか、従業員が働きやすい環境になっているかなどを細かく確認し、拠点担当者に指導するものです。

一方で5Sコンクールは審査、指導だけでなく最も優秀だった拠点に対し表彰を行います。とても厳しい審査を勝ち抜いた拠点にはそれ相応の賞与が与えられるため、毎年コンクールの時期が近づくと日々の清掃活動だけでなく、日常業務内においても従業員同士が厳しく互いの行動をチェックし、入賞を競い合います。



3.3 働きやすい環境づくり

研修・資格取得制度

会社をイノベーション体質にするための研修、社長自らが講師となって行うマネジメントや業界知識などの研修、ISO14001の規格に関する研修など、多岐にわたる社内研修を実施しております。

また、営業所で使用する重機の技能講習、中型・大型自動車運転免許といった実務に必要な技能資格の受講・取得や、MOS資格をはじめとしたPC技能に関する講習、各種ビジネスセミナーなど、社員ひとりひとりのスキルアップに繋がる外部講習の受講を奨励し、参加費／受講費を会社が負担する仕組みを整えております。

業務手順書

業務を適切・安全に行うために作業工程ごとに業務手順書を作成し、従業員教育に活用しております。各作業工程における手順を明確にすることで危機管理意識の浸透を図るだけでなく、一人一人が仕事のしやすい環境を整えております。

従業員満足度調査アンケート

毎年、マーケティング部・総務部が中心となり、全従業員に対し満足度調査を行っております。項目は毎年マーケティング部にて作成され、その年によって会社の行った活動とリンクさせております。また、集計結果もその都度 全社員が閲覧できる掲示板に掲載され、代表取締役が自らコメントを返すこともあります。

当社では2019年で7回目となる従業員満足度調査。採用難の時代の中で離職者を減らすには、今後もフィードバックをこまめに行い、従業員の満足度アップに繋げていけるよう活発に活動することが求められます。



熱中症対策

当社は千葉県・茨城県に計10拠点営業所がございます。どの現場も屋外での作業が多く、夏場になると熱中症の危険性が高まります。エアコンの効いた事務所での休憩やこまめな水分補給への注意喚起だけでなく、斎藤英次商店では「熱中症ゼロ」を目指し、各営業所に現金給付を行っております。

営業所ごとに必要な対策グッズも違ってくるため、全従業員が快適に過ごせるようにこのような対策をとっております。冷却グッズやスタミナの付く食事で毎年厳しい夏場を乗り越えています。

サンクスカード

社員同士がお互いに感謝を込めてカードを送りあう「サンクスカード」制度を実施しております。カードには仕事上での感謝や、他人の良い行動・他の人も真似してほしいと思うことを書きます。また、サンクスカードをもらった枚数、送った枚数に応じて表彰などもあります。

サンクスカードで日頃の感謝を伝えることで職場のコミュニケーションを活性化し、すべての従業員がポジティブに仕事ができるように、働きやすい環境へと職場改善することを目的としています。

小改善シート

2017年より、すべての従業員が自ら考え職場環境を改善していく小改善活動の運用を開始いたしました。「紙でのやり取りを全てネット上へ切り替え業務の手間を削減」「営業所へお持込みされるお客様が分かりやすいようにリサイクルできない紙類を展示」など改善内容に制限を設けていないことが大きな特徴です。違う部門の人と一緒に改善案を出すことも可能です。

毎年、さまざまな部門・チームからいろんな種類の改善案が提出され社内全体に水平展開されており、生産性向上に向けて社員が一丸となって取り組んでおります。

また、優秀な改善案を出したチームには褒章も与えられるため、より優秀な案を出すために何気ない日常業務内でも改善できるところが無いかを考えながら業務にあたっております。



“Focus on something the customer wants,
and then deliver it..”

– Sam Walton



第四章

顧客満足度向上

- 4.1 品質管理委員会
- 4.2 新たな取り組み

第四章

顧客満足度向上



4.1 品質管理委員会

主な活動内容

品質管理委員会では、主にクレーム情報の集計や改善策の考案、お客様からいただいた情報の発信をおこなっております。代表的な活動は以下の2つです。

1) 改善策の考案・実行

その都度担当部署から挙げられる品質、ならびにサービスクレームの報告書を確認し、再び同じようなクレームが起これないよう改善策を考案、当社を利用して良かったと思っただけのように担当部署に対し指導を行っております。

2) 重要情報の発信

お客様からいただいた品質に関する重要な情報や注意喚起依頼を素早く全社に発信するのも品質管理委員の役目です。現場レベルにまで周知徹底させることで、ストレスを感じることなく当社を利用いただけるよう日々努めております。

計量器付き古紙回収車

業務の「見える化」を実現するため、古紙を回収したその場で数量を正確に測ることができる計量器付きの古紙回収車両を保有しております。法令を遵守し、真っ当な仕事をするのでお客様に対しても誠実であることができます。

今後も「見える化」推進のために台数を増やし、ますますお客様の要望にお応えできるように業務効率化に努めてまいります。



持ち去り古紙防止対策

斎藤英次商店では、持ち去り古紙対策手順書を作成し、対策を明確にすることにより、持ち去り古紙の購入防止につながる活動を行っております。

集積場などから許可のない古紙の持ち去りは違反行為です。無断で持ち去られた古紙を買い取らないことは組織の健全な運営の一環であると同時に、そうした持ち去り行為そのものの撲滅への一手となります。

今後も当社は古紙の持ち去りへの対策に取り組み、自治体をはじめとする関係各所との協力を進めてまいります。

顧客満足度調査アンケート

毎年、お客様に対し満足度調査を行っております。その年によって調査対象であるお客様をピックアップし、より広く皆様の声が聴ける体制を整えております。

いただいた貴重なご意見はきちんと営業担当へフィードバックし、よりお客様の満足度向上に努めてまいります。

日々の業務にて改善依頼やご要望などございましたらお気軽にお問合せください。アンケート以外でも皆様のご意見・ご要望お待ちしております。



4.2 新たな取り組み

無人計量システム

生産性向上のために2018年3月より無人計量システムを導入いたしました。

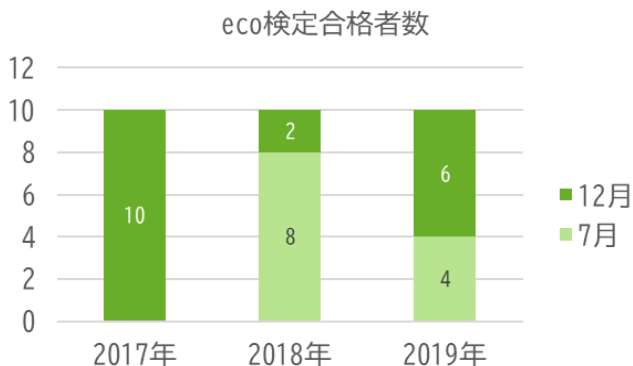
今までは、計量の度に従業員が計量室に入り、機械を操作しておりましたが、こちらのシステムを導入することで計量室へ行く手間を省き作業効率化を図ることができました。

また、当システムはドライバーの方が専用プレートをかざすだけで計量ができるため、お客様のニーズに合わせ営業時間外での荷物受け入れなど従来対応できなかったご要望にもお応えできるようになりました。

eco検定

2017年12月より年に2回、7月と12月に環境社会検定試験であるeco検定に挑戦しております。毎年約10人前後受験しており近い将来、全従業員 合格者100%にすることを目標にしております。

2019年12月末時点では累計30名（全従業員の約25%）が合格しております。





“Credit is like a looking glass,
which, when once sullied by a breath,
may be wiped clear again,
but if once cracked can never be repaired.”

– Sir Walter Scott

第五章

コンプライアンス



- 5.1 個人情報保護方針
- 5.2 個人情報保護管理委員会

第五章

コンプライアンス

5.1 個人情報保護方針

個人情報保護方針

株式会社斎藤英次商店は、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、製紙原料卸売業の一員として顧客及び一般消費者の信頼を得ることにより、高度情報社会の健全な発展に資するため次の通り個人情報保護方針を定め、これを実行いたします。

- ① 当社は大量の個人情報を扱うため、個人情報の取得、利用、提供、取扱いの委託を適正に行い、個人情報の廃棄に関しては万全を期します。また個人情報ごとに特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。
- ② 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどに対して適切な安全対策を講ずるとともに、その予防と是正を実施いたします。
- ③ 個人情報保護に関する個人情報マネジメントシステムを策定し、実施し、維持し、及び継続的改善に努めます。
- ④ 個人情報に関する法令およびその他の規範を常に最新状態に維持するとともにこれを遵守いたします。
- ⑤ 個人情報に関する問合せ、苦情に対し、誠実かつ迅速に対応いたします。

2009年03月11日
株式会社斎藤英次商店
斎藤 大介

5.2 個人情報保護管理委員会

活動内容

当社は、お客様ならびに社内の機密情報を管理・利用するうえで必ず守らねばならないルールを遵守するために個人情報保護管理委員会を設置・運営しております。

主な活動内容としてはクリアデスクのチェック、ならびに業務に使用した機密性のある書類が機密文書として廃棄されているかの確認になります。お客様が安心いただけるように、今後ともより厳しく機密情報の管理をしてまいります。

JISQ15001認証取得に向けて

JISQ15001は個人情報保護を目的としており、個人情報を適切に管理するためのマネジメントシステムの要求事項を定めた規格になります。JISQ15001に基づいて社内体制を整備することで、効果的かつ効率的な個人情報管理を行うことができます。

今後も、組織として活動するうえでさまざまなお客様の個人情報を取り扱うことになります。より一層皆様に安心して斎藤英次商店をご利用いただけるよう従業員一人ひとりが適切な個人情報管理を行い、個人情報に対する意識向上に努めてまいります。





“Someday it than the history leading to the goal will carry a one step not enough. To every step there of he goal, it must be something of value has step itself.”

– Johann Wolfgang von Goethe



会社情報

1. 会社概要
2. 許可証
3. 沿革
4. 拠点一覧

会社情報

1. 会社概要

商号	株式会社 斎藤英次商店
所在地	千葉県柏市柏6-1-1 流鉄柏ビル3F
連絡先	TEL 04-7186-6701 FAX 04-7186-6702
創業	1946年3月1日
設立	1959年11月17日
資本金	1億5,700万円
役員	代表取締役：斎藤 大介 取締役：斎藤 元司 監査役：斎藤 英三
従業員	107名（2019年3月時点）
事業内容	1. 製紙原料及び製袋原料の販売 2. 和洋紙類の販売 3. 一般廃棄物再生にかかる事業 4. 産業廃棄物収集運搬 5. 一般廃棄物収集運搬 6. 一般貨物運送業 7. 前各号付帯する一切の事業

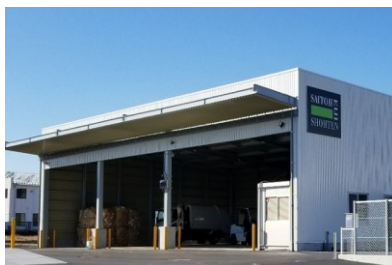
2. 許可証

千葉県産業廃棄物収集運搬業	許可第01200107031号
茨城県産業廃棄物収集運搬業	許可証00801107031号
埼玉県産業廃棄物収集運搬業	許可証01100107031号
千葉県廃棄物再生事業者	登録番号0002号（千葉営業所）
茨城県廃棄物再生事業者	登録番号3002号（土浦営業所）
茨城県廃棄物再生事業者	登録番号3018号（牛久営業所）
茨城県廃棄物再生事業者	登録番号3020号（取手営業所）
茨城県廃棄物再生事業者	登録番号1023号（北茨城営業所）
茨城県古物商	許可第401280000028号
千葉県古物商	許可第441090001933号



3. 沿革

1946年03月	創業者斎藤英次が東京都荒川区日暮里にて斎藤英次商店を開業
1959年11月	株式会社斎藤英次商店を設立
1968年09月	千葉県柏市に柏営業所を開設
1976年11月	茨城県土浦市に土浦営業所を開設
1985年11月	日暮里から本社を柏市に移転
1987年05月	千葉県若葉区に千葉営業所を開設
1993年06月	茨城県牛久市に正直備蓄場を開設
1998年04月	茨城県牛久市に牛久営業所を開設
2000年04月	千葉県船橋市に船橋営業所を開設
2001年06月	千葉県流山市に流山営業所を開設
2004年03月	茨城県土浦市に土浦倉庫を開設
2005年04月	千葉県緑区に土気営業所を開設
2008年05月	茨城県取手市に取手営業所を開設
2010年11月	千葉県松戸市に松戸営業所を開設
2013年03月	行政区画整備により柏営業所を移転
2015年05月	千葉県緑区に土気倉庫を開設
2017年09月	千葉県柏市に柏沼南営業所を開設
2017年12月	茨城県北茨城市に北茨城営業所を開設
2018年11月	内職市場とフランチャイズ契約 千葉県緑区に1号店（内職市場 土気緑の森店）を開設
2019年05月	千葉県柏市に2号店（内職市場 柏の葉キャンパス店）を開設



4. 拠点一覧

本社	〒277-0005 千葉県柏市柏6-1-1流鉄柏ビル3F
柏沼南営業所	〒277-0922 千葉県柏市大島田2丁目18-3
流山営業所	〒270-0132 千葉県流山市駒木518
松戸営業所	〒270-2232 千葉県松戸市和名ヶ谷954-7
船橋営業所	〒273-0047 千葉県船橋市藤原3-19-15
千葉営業所	〒264-0031 千葉県千葉市若葉区愛生町23
土気営業所	〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-1-6
北茨城営業所	〒319-1556 茨城県北茨城市中郷町日棚644-95
土浦営業所	〒300-0013 茨城県土浦市神立町3881-1
牛久営業所	〒300-1231 茨城県牛久市猪子町989-2
取手営業所	〒300-1544 茨城県取手市山王1474
柏の葉 キャンパス店	〒277-0871 千葉県柏市若柴267番地1 中央182街区7
土気 緑の森店	〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-1-6 (斎藤英次商店 土気営業所内)

課題意識とともに高まるリサイクルへの期待に応えていく

人口は増え、暮らしはどんどん豊かになっています。しかし資源には限りがあります。多くの企業が環境に配慮したサービスに移行し始めています。しかし、我々のようなリサイクル事業は排出するお客様やリサイクルした資源を利用するお客様が

いてくださってこそ成り立ちます。私たちのこれからのミッションはリサイクルの輪にかかわるすべての方の意識を高め、一体となって環境に向けた取り組みを進めていくことだと考えており、実現に向けて動き出しています。



*Creating A Sustainable Society
Since 1946*